

金融市場NOW

# ブレグジット後のBOEの金融政策に注目

## 長引くブレグジット問題の影響もあり、英国の景気は伸び悩む

- ▶ EU離脱(ブレグジット)問題の影響や米中貿易摩擦による世界的な貿易の停滞等の影響もあり、英国の経済成長率は伸び悩む。
- ▶ この2年間、英国金融市場はブレグジット問題の影響を大きく受けてきた。2020年1月末のブレグジット後、BOEの金融政策がどのように変化するか注目。

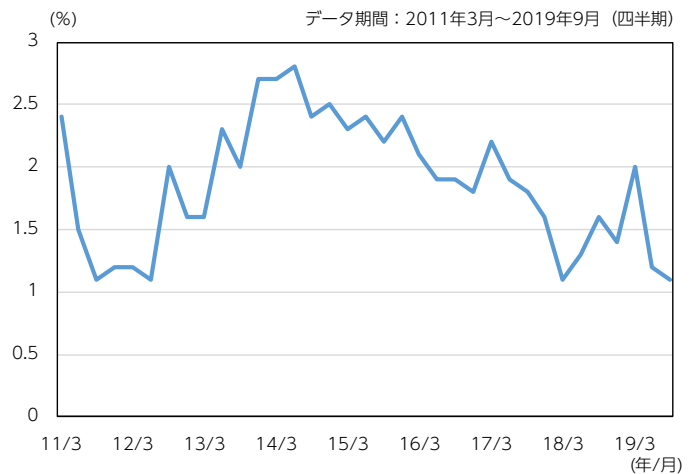
### ～ ブレグジット問題の影響から景気は低迷 ～

● 長引くブレグジット問題の影響を受けて英国景気の低迷が続いています。最近発表された英国のGDP（国内総生産）は前年同期比1.1%増と、2017年3月のEU（欧州連合）離脱表明以降同2%を概ね下回る状態が継続しており【図表1】、景気が上向き兆しは見えてこない状況です。また、購買担当者の景況感を表すPMI（購買担当者景況感指数）は好不況の分かれ目とされる50を下回る状況が製造業で9ヵ月続いており、購買担当者の景況感は低迷しています。イングランド銀行（BOE：英国中央銀行）の委員からも「経済指標次第ではあるものの、利下げをすべきではないか」との声が大きくなりつつあります。また、カーニーBOE総裁はさらなる金融緩和策を導入する利点について金融政策委員会で協議している、と発言しています。その発言を受けて、市場からは、次の一手は利下げではないかとの声も聞こえてきました。

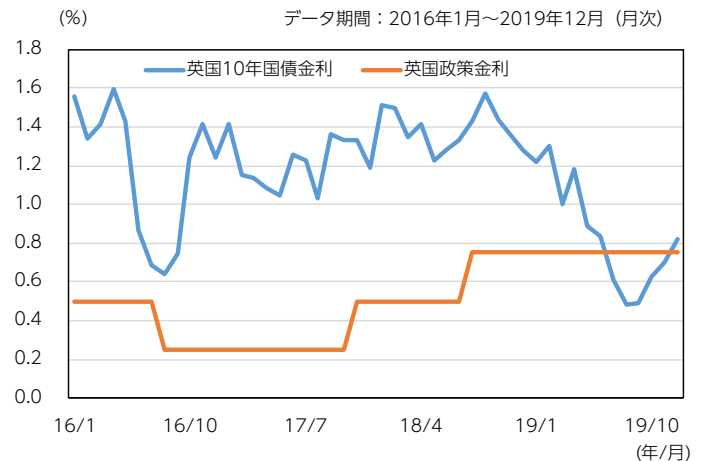
### ～ 英国金融市場はEU離脱で上下に振れる展開 ～

● 英国金融市場は合意なき離脱の可能性が高まるとリスク回避姿勢の強まりから株安・金利低下・ポンド安が進行し、可能性が低くなるとその巻き戻しが入るといった動きを繰り返してきました。1月9日英国下院において「EU離脱法案」が可決され、1月31日のブレグジットがほぼ確実なものとなりました。2020年12月31日までに新たな貿易協定の締結を目指すこととなりますが、わずか1年では困難であるとの見方が大勢を占めています。今回可決された法案は離脱期限の延長を認めないものとなっており、交渉期限である2020年12月31日までに貿易協定の締結に至らない場合、合意なき離脱とほぼ同様の影響があるとも言われています。交渉期限が近づくと、市場は警戒心を高めていくものと思われます。

図表1：英国GDPの推移



図表2：英国10年国債金利と政策金利の推移



### ～ 今後の金融政策に注目 ～

● BOEは2018年8月に利上げをした後、ブレグジット問題の先行き不安等を背景に11会合連続で政策金利を0.75%で据え置いてきました【図表2】。ブレグジット問題の先行きが見えてきたことで、BOEは声明文でやや引き締めの金融政策が適当としています。低水準で推移するGDPや低迷する小売売上高等を受けて、市場では利下げ観測が高まりつつあるようです。利上げか利下げか、今後のBOEの金融政策に注目が集まるものと思われます。

出所) 図表1は英国国立統計局、図表2はブルームバークのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>